

令和7年度 長野県技術プレゼンテーション 一覧

ID	テーマNo	工法名・材料名等	提案技術等の概要	企業名	住所
1	Ⅱ-2 (生産性の向上)	NDパネル	従来の補強土壁の補強材は盛土内に敷設されているため、健全性を確認するにはコンクリート製壁面材の一部を取り壊してから引抜試験等を行い、試験終了後は型枠を設置しコンクリートを充填して復旧させており、多くの時間と費用を要していました。 新開発した多数アンカー式補強土壁工法の壁面材「NDパネル」は、あらかじめ壁面材から補強材を突出させた構造になっており、壁面材を取り壊すことなく補強材の診断が可能です。	岡三リビック株式会社	長野県長野市栗田 2063 あさひスプレッド 東口ビル4-C
2	Ⅱ-2 (生産性の向上)	凍結防止剤自動散布システム	凍結防止剤散布操作を自動化するシステムです。散布区間、散布量、散布幅をあらかじめ設定しておくことで、決められたとおりに散布がされます。従来は運転手と散布操作をする助手の2名必要だった作業が、散布操作を自動化することで運転手1名での作業が可能となり、ワンオペ化を実現します。	ワイズ公共データシステム株式会社	長野県長野市田町 2120-1
3	Ⅱ-2 (生産性の向上)	EHDアンカーHP工法	EHDアンカーHP工法は、2024年2月にNETIS登録(HK-230017-A)されたグラウンドアンカー工法です。特徴はアンカー頭部の【見える化】と、グリースを使用しない【グリースレス構造】です。透明の頭部キャップにより点検作業等の簡略化を実現し、定着具に無電解ニッケルメッキを施し高い防錆性能を確保しています。特に維持管理性(ライフサイクルコスト)が飛躍的に向上しており、従来工法と比べて経済性が30%程度削減可能な新技術のグラウンドアンカー工法となります。	弘和産業株式会社	東京都青梅市今井3- 3-12
4	Ⅱ-2 (生産性の向上)	コスト縮減を目的とした ダム堆砂域の 三次元測量	従来方法に比べて、低予算で精度よくダム堆砂域の三次元測量を行う技術提案です。具体的には、ラジコンボート搭載型マルチビームとRTK搭載型UAV写真測量及びIMU搭載型ネットワーク型RTK測量を複合的に活用することで、中小規模のダムに最適な三次元測量を行う技術です。この技術は、令和6年度に佐久北部事務所様より発注された湯川ダム堆砂測量業務にて当社で実証実験を行い、有効性について検証いたしました。	株式会社みすず総合コンサルタント	長野県上田市上田原 1073-4

5	Ⅱ-2 (生産性の向上)	低炭素型コンクリート "Locacon(ロカコン)"	低炭素型コンクリート『Locacon(ロカコン)』は、コンクリートに使用するセメントを、高炉スラグ微粉末に置き換え、セメント由来のCO2を大幅に削減したプレキャストコンクリートです。Locaconのセメント置換率は国交省の指標を大幅に上回り最大60%を達成。これにより従来品と比べ-58%のCO2が削減できます。LocaconはCO2の削減と高い品質を叶えるプレキャストコンクリートです。	株式会社高見澤	長野県長野市赤沼柳橋2276-2
6	Ⅱ-2 (生産性の向上)	テトラポッド掴み機	バックホウに取り付けるアタッチメント。ワイヤーリングと開閉アームからなるシンプルな構造で、根固めブロックであるテトラポッドを簡易に把持・設置できる装置。油圧ショベルのオペレーターだけでの作業が可能で、玉掛作業員の挟まれ事故等のリスクを軽減できる。機動性が高く、クレーンによる設置より大幅に時間短縮が可能で、緊急時には大きな威力を発揮。油圧ショベルが無人工化施工対応機種であれば、遠隔からの操作も可能。	株式会社不動テトラ	東京都中央区日本橋小網町7-2
7	Ⅱ-2 (生産性の向上)	根固ブロックヴェントーサ	根固ブロック「ヴェントーサ」は、経済性・据付作業の効率化を目的として敷設面積当たりのブロック所要個数を同等製品中最少を目標に開発した製品です。 作業性向上の為に、揚力低減を意図して一般的に設けられているブロック中央の穴を廃し、ブロック前面に下向き揚力を得るための傾斜を設ける事で安定性の向上を図っています。	株式会社 三柱	東京都江東区佐賀1-18-8 佐賀町MDビル
8	Ⅱ-2 (生産性の向上)	クロスカバーネット工法	既設吹付法面に金網とワイヤーロープを被覆し、半永久的にモルタルの剥落を防ぐ工法。施工性・安全性が向上し、コスト・工期の縮減などのメリットがある。 ①安全性の向上: 金網とワイヤーロープを被覆する構造により、半永久的にモルタルの剥落が防げ、第三者への安全性向上。 ②施工性の向上: 使用部材は軽量かつ可撓性に富んだ材料で、法面の作業が容易。 ③コスト: 従来の工法(既設剥ぎ取り+再吹付)と比べ、約8%のコスト縮減。	北陽建設株式会社	長野県大町市社5377
9	Ⅱ-4 (安全施設)	エア遮断機	エア遮断機は、遮断部分がエアで膨らませるポールになっていて通行人・通行車両へ安全に通行止めを促すことができる技術です。従来であれば、頑丈な素材が使用されていて、現地に到着しないと遮断が出来ず緊急時に対応が出来ないという問題がありました。 課題であった、迅速で安全に仮封鎖という問題も、遠隔操作またはセンサーにより動作させることができ、エアポールは素材が柔らかいので車両を傷つけることなく道路を通行止めできます。 夜間時もLEDフラッシャーが内蔵されているので視認性も高く、エアポールも3.5m/5mと種類があるため、幅広い道路も遮断が可能です。	株式会社アースシフト	静岡県静岡市葵区山崎2-17-16

10	Ⅲ-1 (インフラメンテナンス)	のリフレッシュ工法	法面において、老朽化した既設吹付モルタルを取り壊すことなく、補修・補強することができる工法です。老朽化の程度や既設吹付モルタルと背面地山の状態に応じて樹脂吹付タイプ2種類と増厚タイプ5種類の計7種類から適切な対策工を選択できます。	長野県のリフレッシュ工法協会	長野県松本市大字新村2270-1 ライト工業(株)長野営業所内
11	Ⅲ-2 (下水道管路更生工法)	強プラ管鞘管工法	老朽化した下水道管きよを強プラ管で更生する工法です。強プラ管を立坑部から人力にて既設管内に運び込み、管接合後管ごとにレベル調整を行い、強プラ管を既設管内で配管します。人孔間に強プラ管を順次据え付け後、両端を間仕切して強プラ管と既設管の隙間にエアモルタルを充填して構築します。この工法は既設管の老朽度に関係なく高強度で耐酸性、耐震性に優れた強プラ管による自立管きよを構築する工法です。	株式会社栗本鐵工所	東京都港区港南2丁目16-2
12	Ⅲ-2 (下水道管路更生工法)	ダンビー工法	ダンビー工法は、既設管きよを非開削で効率的に更生する工法です。既設管きよ内面上部にスペーサーを設置後、硬質塩化ビニル樹脂製のストリップを管きよ内面にスパイラル状に巻き立てます。次に、隣り合うストリップ間をSFジョイナーでかん合し、連続したストリップ管を形成します。最後に、ストリップ管と既設管きよとの空隙に充てん材を注入することで、既設管きよと更生部材とが一体となった更生管となり、高い強度と水密性を発揮します。	EX・ダンビー協会	東京都中央区日本橋茅場町2-8-4 全国中小企業会館ビル8階